

令和3年度 決算事業別概要書

正副管理者会議 資料1

1	項目名	事務局庁舎空調設備等修繕
---	-----	--------------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	総務費
---	-----

項	総務管理費
---	-------

目	一般管理費
---	-------

(単位：千円)

当初予算額	12,881
-------	--------

補正予算額	△ 8,492
-------	---------

最終予算額	4,389
-------	-------

本年度決算額	4,389
--------	-------

区分	金額
----	----

財 源 内 訳	国庫支出金	0
------------------	-------	---

財 源 内 訳	県支出金	0
------------------	------	---

財 源 内 訳	地方債	3,200
------------------	-----	-------

財 源 内 訳	その他	0
------------------	-----	---

財 源 内 訳	市町負担金	1,189
------------------	-------	-------

計		4,389
---	--	-------

(参考)

前年度決算額	6,600
--------	-------

事業の概要	担当課	総務課
-------	-----	-----

【問合せ先】庶務係 0857-20-0119

【事業概要】

事務局本庁舎は、本組合が平成7年に現建屋（昭和52年度竣工）を取得・改修し、事務局執務室等として活用するとともに、平成11年には、共同処理事務の増加に伴い利便性の向上等を図るため、事務局分庁舎を竣工し現在に至っている。

近年、本庁舎、分庁舎ともに建物・設備の老朽化が進んでいることから、令和2年度から年次計画的に修繕を行っており、令和3年度は、令和2年度から実施している空調設備等の修繕を完了した。

【事業の成果】

令和2年度 事務局本庁舎（2階・3階）の空調設備修繕 〈 6,600千円 〉

令和3年度 事務局本庁舎（1階）・分庁舎空調設備修繕 〈 4,389千円 〉

【今後の課題・方向性】

施設の維持管理をより効率的・効果的に進めるため、引き続き必要な修繕を行い、事務局庁舎の予防保全に努めていく。

令和4年度 事務局本庁舎・分庁舎の外壁及び屋上防水改修設計 〈 3,338千円 〉

令和5年度 本庁舎外壁、分庁舎外壁・屋上防水改修 〈 概算 44,975千円※ 〉

※本庁舎外壁にアスベストが含まれている場合を想定

評価結果

事務局庁舎の長寿命化の点からも、効果的な修繕整備を図れた。

2	項目名	最終処分場第4土堰堤築堤整備事業
---	-----	------------------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	衛生費
---	-----

項	不燃物処理費
---	--------

目	環境クリーンセンター管理費
---	---------------

(単位：千円)

当初予算額	85,203
-------	--------

補正予算額	△ 33,208
-------	----------

最終予算額	51,995
-------	--------

本年度決算額	51,995
--------	--------

区分	金額
----	----

財 源 内 訳	国庫支出金	13,446
------------------	-------	--------

	県支出金	0
--	------	---

	地方債	32,900
--	-----	--------

	その他	0
--	-----	---

	市町負担金	5,649
--	-------	-------

	計	51,995
--	---	--------

(参考)

前年度決算額	-
--------	---

事業の概要	担当課	福祉環境課
-------	-----	-------

【問合せ先】 環境管理係 0857-26-0532

【事業概要】
鳥取県東部環境クリーンセンター最終処分場は、平成9年4月の供用開始以降埋立を行っている。北側堰堤及び南側堰堤は埋立状況に応じてその都度築堤しており、令和3年度も埋立状況を勘案して築堤を行った。今回で4回目の築堤整備となる。

【事業の成果】
最終処分場北側堰堤及び南側堰堤設置 (51,995千円)

【今後の課題・方向性】
引き続き最終処分場の延命化及び適正管理に努める。

評価結果	最終処分場を適正管理するための必要な性能を確保することができた。
------	----------------------------------

3	項目名	因幡浄苑 集排汚泥受入槽・中継槽防食等修繕
---	-----	-----------------------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	衛生費
---	-----

項	し尿処理費
---	-------

目	施設管理費
---	-------

(単位：千円)

当初予算額	52,080
-------	--------

補正予算額	0
-------	---

最終予算額	52,080
-------	--------

本年度決算額	35,248
--------	--------

区分	金額
----	----

財 源 内 訳	国庫支出金	0
------------------	-------	---

財 源 内 訳	県支出金	0
------------------	------	---

財 源 内 訳	地方債	26,400
------------------	-----	--------

財 源 内 訳	その他	0
------------------	-----	---

財 源 内 訳	市町負担金	8,848
------------------	-------	-------

計		35,248
---	--	--------

(参考)

前年度決算額	82,744
--------	--------

事業の概要

担当課

福祉環境課

【問合せ先】環境管理係 0857-26-0532

【事業概要】

因幡浄苑の処理水槽には防食塗装が施されており、コンクリート槽の腐食を防ぐ構造になっている。そのうち、前処理設備の各水槽は、し尿・集排汚泥等に含まれるアンモニアが貯留過程で硫化水素に変化し、塗装部を腐食させている。

昨年度施工したし尿受入槽及びし尿貯留槽に加え、令和3年度は集排汚泥受入槽及び中継槽の防食塗装を行った。

【事業の成果】

令和2年度

・凝集膜分離装置修繕 1台 < 40,700千円 >

・し尿受入槽及び貯留槽防食修繕 < 42,044千円 >

令和3年度

・集排汚泥受入槽・中継槽防食修繕 < 35,248千円 >

【今後の課題・方向性】

施設の長寿命化を図りながら適正管理に努める。

評価
結果

今後の適正管理を見据えた施設性能を確保することができた。

4	項目名	可燃物処理施設建設事業
---	-----	-------------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
一般会計	
款	衛生費
項	可燃物処理費
目	ごみ処理施設建設費

事業の概要	担当課	施設建設課
-------	-----	-------

<p>【問合せ先】0857-26-0596</p> <p>【事業概要】 可燃物処理施設建設工事は、令和元年8月に現地工事に着手し、令和4年7月末の完成を目指し工事を進めているところであり、令和3年度は、現地工事3年目となる。</p> <p>【事業の成果】 令和2年度 ①工事関係経費〈5,785,614千円〉 ・(債) プラント建設に係る設計・施工監理委託業務(平成30年度～令和4年度) ・(債) 可燃物処理施設建設工事(平成30年度～令和4年度) ②その他経費〈31,066千円〉 ・環境影響評価事後調査業務 ・施設周辺管理業務 等</p> <p>令和3年度 ①工事関係経費〈11,846,509千円〉 ・(債) プラント建設に係る設計・施工監理委託業務(平成30年度～令和4年度) ・(債) 可燃物処理施設建設工事(平成30年度～令和4年度) ②その他経費〈58,204千円〉 ・環境影響評価事後調査業務 ・搬入路整備工事 ・南法面仮補修業務、法面地すべり調査業務 等</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き施設の本稼働を目指し整備を進める。</p>
--

(単位：千円)

当初予算額	11,919,080
補正予算額	
最終予算額	11,911,103

本年度決算額	11,904,713
--------	------------

区 分		金 額
財 源 内 訳	国庫支出金	4,461,284
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	市町負担金	7,443,429
計		11,904,713

(参考)

前年度決算額	5,816,680
--------	-----------

評価結果	施設の本稼働に向け、事業の推進が図れた。
------	----------------------

5	項目名	消防庁舎 新築事業
---	-----	-----------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
-----	--

一般会計	
------	--

款	消防費
---	-----

項	消防費
---	-----

目	消防施設費
---	-------

(単位：千円)

当初予算額	517,670
-------	---------

補正予算額	△ 116,201
-------	-----------

最終予算額	401,469
-------	---------

本年度決算額	324,946
--------	---------

区分	金額
----	----

財 源 内 訳	国庫支出金	0
------------------	-------	---

	県支出金	0
--	------	---

	地方債	278,100
--	-----	---------

	その他	46,846
--	-----	--------

	市町負担金	0
--	-------	---

計	324,946
---	---------

(参考)

前年度決算額	212,903
--------	---------

事業の概要

担当課

消防総務課

【問合せ先】管理係 0857-23-2434

【事業概要】

消防庁舎の老朽化及び耐震不足を解消するため、本組合消防庁舎整備基本方針に基づき消防庁舎の新築整備を行った。令和3年度は、八頭消防署智頭出張所新築工事の2年目、同署用瀬出張所新築工事の1年目となる。その他に単年度事業として、消防局2・3階屋上防水改修工事を行った。

【事業の成果】

- 1 八頭消防署智頭出張所 (構造)RC造平屋建 (延面積)約650.30㎡
 - ・智頭出張所整備事業費 260,019千円
 - ①委託業務費〈8,585千円〉(債)工事監理業務(令和2～3年度)
 - ②工事費〈251,434千円〉(債)新築工事(令和2～3年度)
- 2 八頭消防署用瀬出張所 (構造)RC造2階建 (延面積)約608.26㎡
 - ・用瀬出張所整備事業費 41,596千円
 - ①委託業務費〈3,036千円〉(債)工事監理業務(令和3～4年度)
 - ②工事費〈38,560千円〉(債)新築工事(令和3～4年度)
- 3 消防局庁舎
 - ・消防局2・3階屋上防水改修工事費 23,331千円
 - ①工事費〈23,331千円〉防水改修工事

【今後の課題・方向性】

引き続き、消防庁舎整備基本方針に基づき、適正に新築整備・庁舎改修を行う。

評価結果

地域の防災拠点としての役割を十分に果たすよう最新機能を備えた整備が図れた。

6	項目名	水槽付消防ポンプ自動車・高規格救急自動車 更新整備
---	-----	---------------------------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

当初予算額	110,509
補正予算額	△ 13,379
最終予算額	97,130

本年度決算額	96,129
--------	--------

区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	60,700
	その他	30,150
	市町負担金	5,279
計		96,129

(参考)

前年度決算額	66,176
--------	--------

事業の概要	担当課	消防総務課
-------	-----	-------

<p>【問合せ先】 管理係 0857-23-2434</p> <p>【事業概要】 長期間使用により老朽化した車両を年次計画に基づき更新するもの。令和3年度は、水槽付消防ポンプ自動車（1台）と高規格救急自動車（1台）の更新整備を行い、的確な災害対応体制の更なる充実を図った。</p> <p>【事業の成果】 令和2年度 ・災害対応特殊高規格救急自動車〔鳥取消防署〕更新整備 33,088千円 ・災害対応特殊高規格救急自動車〔東町出張所〕更新整備 33,088千円 令和3年度 ・災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車〔鳥取消防署〕更新整備 62,370千円 ・災害対応特殊高規格救急自動車〔鳥取消防署〕更新整備 33,759千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 引き続き、消防車両等更新計画に基づき、適正に更新整備を行う。</p>
--

評価結果	各種災害に適切に対処するため、最新機能を有した資機材等を搭載するなど、効果的な更新整備が図れた。
------	--

7	項目名	消防緊急通信指令システム機器適正化（更新）事業
---	-----	-------------------------

年度	令和3年度
----	-------

会計名	
一般会計	
款	消防費
項	消防費
目	消防施設費

(単位：千円)

当初予算額	60,390
補正予算額	0
最終予算額	60,390

本年度決算額	60,280
--------	--------

区 分		金 額
財源内訳	国庫支出金	0
	県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	市町負担金	60,280
計		60,280

(参考)

前年度決算額	76,450
--------	--------

事業の概要	担当課	情報指令課
-------	-----	-------

【問合せ先】システム管理係 0857-29-6895

【事業概要】
 消防緊急通信指令システムは、運用開始して6年が経過する中、令和元年度にはシステム基本OSのサポート終了に伴うセキュリティ対策として、一部機器の更新を行ったところである。
 令和2年度から実施しているシステムの機器適正化に伴う中間更新の最終年度（2年目）として、耐用年数（5年）が経過している機器のうち、障害が生じた場合、指令システムに重大な影響を及ぼす危険性がある機器、及び保守部品の調達が困難になる機器について、更新整備を行った。

【事業の成果】
 令和2年度 消防指令センターを中心とする重要機器の更新整備。〈76,450千円〉
 令和3年度 署所の指令端末装置を中心とする重要機器の更新整備。〈60,280千円〉

【今後の課題・方向性】
 引き続き次の全体更新に向けて検討が必要である。

評価結果	システムの機器適正化に伴う中間更新が完了し、重要機器の更新整備が図れた。
------	--------------------------------------